出張旅費規定

社会福祉法人容雅会

出張旅費規定

第1章 総則

(目的)

第1条 本規定は、社会福祉法人容雅会(以下「法人」という。)の職員が、出張する場合の旅費 の支給について定める。

第2章 出張の区分

(出張の区分)

- 第2条 出張の目的が、時間及び距離にかかわらず、宿泊(船車中泊を含む)を要する出張を普 通出張とし、宿泊を要しないものを日帰り出張とする。
 - 2 出張旅費は、第3条に定めるものとし、第4条から第8条までの定めるところにより支給する。

第3章 出張旅費

(出張旅費の内訳)

- 第3条 出張にあたっては、次に定める旅費を支給する。
 - (1) 交通費
 - (2) 日当
 - (3) 宿泊費

(出張旅費の支給額)

- 第4条 福島県内及び車両での片道経路の平均的な移動時間が3時間以内の出張は、原則として 日帰りとし、第3条に定める交通費のみを支給し、日当及び宿泊費は支給しない。ただ し、理事長が宿泊を認めた場合は、日当及び宿泊費の実費を支給する。
 - 2 普通出張旅費は、別表に定める等級の料金を支給する。

(交通費)

第5条 交通費は、全て実際の経路により支給する。ただし、その経路は、最短時間の経路とする。なお、営業用乗用車(タクシー、ハイヤー等)の利用は、原則として認めない。

(航空機の利用)

第6条 航空機の利用を理事長が認めたときは、その実費を支給する。

(法人所有車利用の場合)

- 第7条 法人の所有車を利用するときは、所属長に申請し施設長の承認を得なければならない。
 - 2 法人所有車を利用したときは、その区間の交通費は支給しない。
 - 3 法人所有車の運航に伴う高速道路通行料金、ガソリン代、駐車料その他の経費は実費を支給する。
 - 4 法人所有車による出張中に、その車両の使用が不可能となり、任務の遂行のため、他の 交通機関を利用したときは、この区間の交通費は実費を支給する。
 - 5 法人の所有車に余裕が無い等の何らかの事由により、代替車として職員個人の所有車を利用する場合には、1 km(※)あたり15円(10150円で10km 走行を仮定)を支給する。上記本条第2項から第3項に定める規定を適用しない。ただし、本条4項に定める事象が発生した場合には、規定を適用する。

※ 本人の申請により支給するが、法人の概算距離と乖離がある場合には、内容を確認し変更する場合がある。

(旅費を他より受けた場合の取り扱い)

第8条 旅費の全部又は一部を、招待その他の理由により、他から費用支払を受けたときは、本 規定に定める旅費を減額又は、支給しないことがある。

第4章 出張手続

(出張の申請)

- 第9条 出張するときは、あらかじめ所定の「出張伺」に其々必要事項を記入のうえ、所属長に 提出し、施設長の承認を得なければならない。
 - 2 施設長の出張の場合は理事長の承認を受けなければならない

(旅費の仮払)

- 第10条 出張者が前条の承認を得たときは、出張に関する費用の仮払を受けることができる。 (出張報告及び旅費の精算)
- 第 11 条 出張者は、出張終了後「出張復命書」及び「出張・研修報告書」を作成の上、3日以内に所属長に報告し、施設長の承認を得なければならない。
 - 2 「出張復命書」には、実費の支出を証明するため、領収書を添付しなければならない。 領収書を付することができない場合は、「支払報告書」を添付の上、その理由を記載し、 事務長の承認を得なければならない。
 - 3 出張者は、上記の承認を受けた後、3日以内に旅費の精算をしなければならない。
- 第 12 条 職員が、別に定める社会福祉法人役員報酬規程による役員及び評議員・外部委員等と出 張を同行した場合は、宿泊費の上限を社会福祉法人役員報酬規程の額とする。

(改定)

- 第12条 本規定の改定については、理事会の承認を得なければならない。
 - (附則) 本規定は、平成27年4月1日より施行する。
- (附則) 改訂後の本規定は、平成29年6月1日より施行する。

別表

	一般職員
航空機	エコノミー
新幹線	指定
特急	指定
車両 (職員所有車の場合)	15 円 1km 高速代等
法人車両等	高速代、ガソリン代、レンタカーの
	場合その費用
日当	日帰出張 800円
	普通出張 1,500円
宿泊費	(上限) 7,000円